

《秋の要求活動スタート》◎5年連続の給与改善・差額支給を ◎人員確保・労働時間管理・超勤縮減で「健康で働ける職場」を ◎「会計年度任用職員制度」で非正規の雇用継続・処遇改善を

■人事院が「働き方改革と勤務環境の整備」について報告（8月10日）※以下抜粋要約

- ①長時間労働の是正 … 超過勤務命令の上限を人事院規則において原則1月45時間・1年360時間と設定する。他律的業務の比重の高い部署は1月100時間・1年720時間。大規模な災害への対応など真にやむを得ない場合には上限を越えることができることとし、事後的な検証を義務付ける。1月100時間以上の超過勤務を行った職員に対する医師による面接指導の実施など職員の健康確保措置を強化する。1年の年次休暇の日数が10日以上、職員が年5日以上、年次休暇を使用できるよう配慮する。
- ②仕事と家庭の両立支援、心の健康づくりの推進 … 本年3月に発出した『両立支援に係る指針』の内容の徹底、不妊治療を受けやすい職場環境の醸成、心の健康づくりの推進、『過労死等防止対策大綱』に基づく取り組みを実施する。
- ③ハラスメント防止対策 … 検討会を設けるなど外部有識者意見も聞きながら、公務におけるパワハラ対策を検討する。
- ④非常勤職員の適切な処遇の確保 … 休暇については、民間の状況もふまえ「慶弔」に係る休暇について措置する。



自治労連愛媛

第500号

発行所
自治労連愛媛県本部
松山市三番町5丁-10-3
電話(089)931-7814
FAX(089)931-1699
mailto:pref@sjae.com.jp
発行人 高尾 九幸
編集人 石真 伸

(社団法人愛媛県自治労連)
あかあか会館2階211号室



保育部会は8月22日、今年で9回目となる「県子育て支援課懇談」を実施し、8単組11人が参加しました。

①保育士負担軽減について、県から「H30年3月に東・中・南予地方局で自治体独自で軽減策を検討する会を市町の情報共有のため開催。その際、地方局ごとの調査委員も参加し、それを受け自治体でいろいろの策や工夫がなされている」との見解に、参加した保育士から「4月から市独自書類の廃止や軽減などが伝えられ、なぜかと思っていたが理由がわかった。調査委員も入っている」とい

【保育部会】 「災害状況や保育士不足」を訴え

「国」の『H28非常災害対策計画』以前に県は『H24施設防災計画』を策定し、策定の有無が監査項目になっていた」と説明。参加者の「災害時の休園判断に県が一定の基準を示してほしい」の要望に「自治体や各園で立地条件などもあり、それぞれで計画を立ててほしい。基準をつくらせるとそれにとられてしまうのではな

いか」と回答。懇談のなかで「命を最優先する」という認識は共有でき、参加者が「可能な限り保育園は開けなければならぬ」という意識が私たちにも園長にもある。『休園の措置もある』ということを示す市町や園に示してほしい」など訴えました。

③保育士不足では、県は「県外保育士が県内に就職するときの助成制度を設けた。政府の打ち出している無償化によって保育ニーズが高まり、さらなる保育士不足を懸念する。無償化には賛成だが来年4月からというタ

日程

【9月】

- 15 県本部拡大執行委員会
- 市職評議会定期総会
- 東予総支部定期総会
- 18 県人事委員会要請（県庁）
- 24 県本部バレー大会（今治）
- 26 県市町会長要請
- 南予総支部定期総会
- 27 公企評水道職訪問
- 29 女性部幹事会
- 保健師部会
- 青年部幹事会。交流会
- 医療介護評幹事会
- 四国B野球大会（砥部）

【10月】

- 1 愛媛自治体退職者会総会
- 3 県町村会長要請
- 町職評議会総会
- 6 全国自治研集会（高知～7）
- 10・11・15 県本部統一要求提出
- 13 県本部拡大執行委員会
- 21 県自治研集会（今治）
- 22 医療会議評要請行動

第59回地方自治研究愛媛県集会



《地方自治を住民の手に》
地域にあるものを活かす取り組みと情報発信で、
地域産業振興と地元雇用につなげ、定住促進をめざそう

日時 2018年10月21日(日)
9:30受付～10:00開会～16:00閉会
場所 今治市「今治市民会館」(市役所庁舎隣接)
(今治市別宮町1-4-1・TEL0898-36-1610)

全体企画 ◎講演 13:30～
講演1「今治タオルブランド戦略から、地場産業・情報発信・地元雇用を考える」
【講師】渡邊利雄さん (渡邊/ワタベ株式会社・代表取締役社長)
※講演内容：情報発信の共有、価値の可視化と解読型ブランド化と事業展開、地元雇用、など

講演2「地元の産業・高層建築に寄り添う産直活動から、地域活性化と働く場を考える」
【講師】山藤 篤さん (愛媛大学社会共創学部助教授・博士(農学))
※講演内容：JAさかいまほり『さかいまほり』、西予産直『百姓百選』の取り組み、地域振興モデル
10:00～(分科会)
①加計学園獣医学部の施設見学(要事前申込み)
②社会保険・公衆衛生 ③届けたいのちの水 ④保育
⑤青年講座「いまと理想のライフプランを考える」

うことで安心した」と発言。
②災害対策では、県は「国の『H28非常災害対策計画』以前に県は『H24施設防災計画』を策定し、策定の有無が監査項目になっていた」と説明。参加者の「災害時の休園判断に県が一定の基準を示してほしい」の要望に「自治体や各園で立地条件などもあり、それぞれで計画を立ててほしい。基準をつくらせるとそれにとられてしまうのではな



イトに自治体側も現場も対応しきれないのではと困っている」など見解。参加者から「今回の災害の状況」や「保育士・給食調理員不足の状況」を訴えました。午前中は保育部会幹事会で職場状況を交流しました。



8月18・19日、高知自治労連からと県内組合員計21人が、宇和島市吉田地区で《支援ボランティア》に参加。JAえひめ南予ボランティアセンターの指示で立間地区の『みかん畑』で、流入土砂の撤去を行いました。谷筋奥深くに入った傾斜地に入りシャベルやクワ・一輪車を使い、チームワー

クでみかんの木の周辺を元の土まで掘り起こしたり、土砂で埋まったモノラックのレールを掘り出していきました。みかん農家の宮本さんは「本当に助かります。みなさんの支援を受けて、なんとか少しでも年内に出荷したいんです」と語ってくれました。

8月19日には岩手自治労連の7人と県内組合員が西予市野村地区で《支援ボランティア》を実施。午前中は2班に別れ、『野村保育園』の片づけと『野村クリーンセンター』業務手伝いを行いました。保育園は建物解体が決まり、手付かずでしたが「そのままというのもよ

《支援ボランティア》
みかん農家「支援を受け、少しでも出荷したい」
保育士「保育園取り壊しは寂しいけど前を向いて」
クでみかんの木の周辺を元の土まで掘り起こしたり、土砂で埋まったモノラックのレールを掘り出していきました。みかん農家の宮本さんは「本当に助かります。みなさんの支援を受けて、なんとか少しでも年内に出荷したいんです」と語ってくれました。

【青年部】『よさこいプロジェクト』本番 踊って笑って肩組んで『えいやんか』

8月10、11日、暑く熱い高知で、四国ブロック青年部は「よさこいプロジェクト」の本番『よさこい祭り』に参加。高知自治労連青年部が主体で準備し当日を迎え、踊り子80人超、スタッフ、子どもも含め100人以上が四国4県から参加。愛媛は災害復旧活動が土日



も行われる関係でキャンセルもあり5人が参加。チーム名は『高知自治労連青年部EYANCA』。由来は「四国ブロック青年部が良くなり、最後までやりきりました。西条市職労の浅木さんが追手筋競演場で『笑顔と元気みなぎる踊り子』へ送られる『朱色の花メダル』(なかなかもらえない)を受賞しました。最後の菅屋町演舞場を終えて、原山よさこいプロジェクト実行委員長(高知自治労連青年部書記長)が「今日を迎えられて感謝です」と締め。愛媛参加者からは「楽しかったよさこい祭りに出られて貴重な経験ができた」などの感想もありました。この『EYANCA』の踊りはYouTubeでも見られます。

【宇和島】宇和島市病院局&本庁支所に 災害復旧業務「お疲れさまです」



市立宇和島病院労組は8月10日、病院総務管理課と看護部長室を訪問し、災害復旧業務に従事する病院職員へスポーツドリンクと飴(塩分補給・熱中症対策用)の「差し入れ」に「おつかれさまメッセージ」を添えて届けました。大下委員長より手渡された課長補佐は「あの

りがたくいただきます」とさっそく職員に配る手配をしてくれました。同日宇和島市職も、先週に続き飲料とお菓子類の「差し入れ」を各部署に届けました。津島支所ではIFロービーに「お疲れ様メッセージ」を添えた冷えた飲み物・お菓子を設置。訪問したクリーンセンターでは、受け取った職員さんが「こやかな表情」で話してくれたのが印象的でした。

【非正規公共】会計年度任用職員「制度設計に向けた《要求課題》と《組織課題》」



8月18日、今年で11回目となる「非正規・公務員公共の全県学習会」に16単組支部25人が参加。『会計年度任用職員制度』の《要求と組織の課題》について、講師の篠原勇さん(千葉県本部副委員長)の話を聞き、質疑と意見交換。①制度の目的

と強調されました。②今年度の秋・年末が条例化に向けた労使交渉の山場、総務省も示した「職員団体・労働組合との交渉・協議」の必要性、③組合は「共通要求」と「職種ごとの具体的要求」をまとめ、『要求書』を提出し、当事者の組合加入で、労使協議・交渉の段階に移ると強調されました。

【予】『よさこいプロジェクト』アイロンがけ教室



伊予市職労は8月14日市庁舎大会議室で「アイロンがけ教室」を開催し22人(子ども・組合員OBも)が参加。今回のイベントは、先般実施した伊予市商工会議所青年部との交流会で、石田クリーニング社長の清本有策さんに提案し、快く引き受けていただき実現。教室はまず清本さんがワイシャツのアイロンがけを実演。教室となりました。

一番格好良く見える細部を重点的にかけてから、全体にアイロンを当てるなど、コツを交えながらの手さばきは『さすがプロ』。その後班に分かれ持参した衣類のアイロンがけに挑戦。最後に油性マジックなどのしみ抜きを実演。参加者から「思った以上に楽しかった」「こういう講習会は今後参加させてほしい」などの感想があり、大満足の教室となりました。

住民生活を守る職場人員増を！ 災害に強い自治体づくりを！

8月25、28日、大阪府で「自治労連第40回全国大会」が開かれ、愛媛から15単組35人が参加。25日『事前会議』では、各支部評議会に参加。26、28日『定期大会』では「安倍改憲NO!」「全体の奉仕者」の役割を發揮して、憲法がいける地域・職場をつくる」のスローガ

ンで、全国の実践と教訓・課題を出しあい「運動方針」を決定。大会討論で愛媛から宇和島病院労組・大下委員長と西予市職労・和気委員長が発言。まためでは「住民生活を守る人」の増強、「災害に強い自治体づくり」運動が「重点課題の一つ」と強調されました。

今年、新採として市役所の台風の襲来に鉢植えを移動させて疲弊していま

マス目を埋め、二重枠の9文字で、ざっくりしていることになって下さい。

【ヨコのカギ】
①株価が上昇する。その人の評判がよくなる
④かくかく〇〇〇〇
⑦アトリエ、録音室など。ヒット〇〇〇〇
⑧言語表現による芸術作品。純〇〇〇〇
⑨半額=5〇〇〇〇

【タテのカギ】
①権利保全などのために、裁判所により暫定的になされる処分
②インド北部の大河。ヒンドゥー教徒は「聖なる川」と
③にんげんぼんじさいおう〇〇ま
⑤とろみをつけるのに〇〇〇〇粉を使う
⑥物事の始終に適当な好機。そろそろ〇〇〇〇か

出題者 堀川孝行

■498号のバズルの答えは「アクタガワリユウノスケ」(芥川龍之介)でした。正解は10通でした。正解者のなかから5人の方に図書カードを差し上げます。(敬称略)

大坪 徹也(新居浜)
杉 まき子(西条)
井上 裕也(西予)
小林 弘樹(津島吉田)
竹森 千晶(西予)

【応募方法】バズルの解答、氏名、住所、単組名を忘れずに。また、余白に紙面の感想、職場や家庭での出来事などをお書きください。正解者のなかから5人の方に図書カードを進呈いたします。

【送り先】自治労連愛媛県本部バズル係 〒790-0003 松山市三番町8丁目10-2 (FAX、メールも可) 1面題字下に記載

【締切り】10月27日【発表】502号(12月号)

おたより ありがとう

■これからずっと夏がこんなに暑いと、先行きが不安になってしまいます。(西条・山内)

■今年の夏は今までに無い暑さでした。趣味のバイクを転がしてUFORラインに行つて涼むのが今のもっともやってみたいことです。(新居浜・小倉)

■今年は何度も立て続けの台風の襲来に鉢植えを移動させて疲弊していま

■9、10月に小さな花を咲かせるシソの花つご存知ですか?花言葉は『力が蘇る』。この夏の災害から数カ月経ちましたが、本当の復興にはまだまだです。くじけずに前を向いて一歩一歩進んでいきたい!

(宇和島・竹田)

